

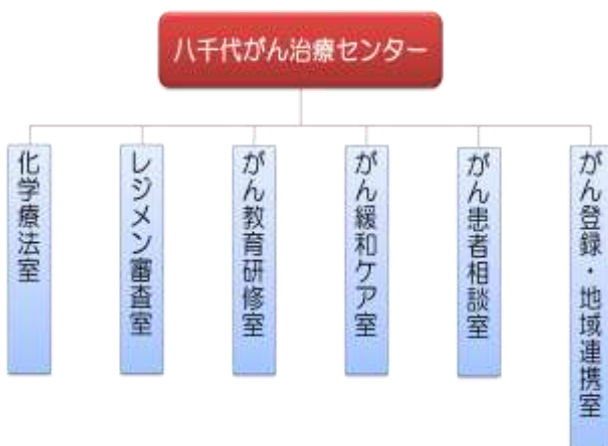
がん診療連携協力病院

当院は千葉県より「がん診療連携協力病院」に指定されています。胃がん、大腸がん、肺がん、乳がんの治療に関して、がん診療連携拠点病院に準じる診療機能を有すると認められています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/gan/kyouryokubyouin.html>

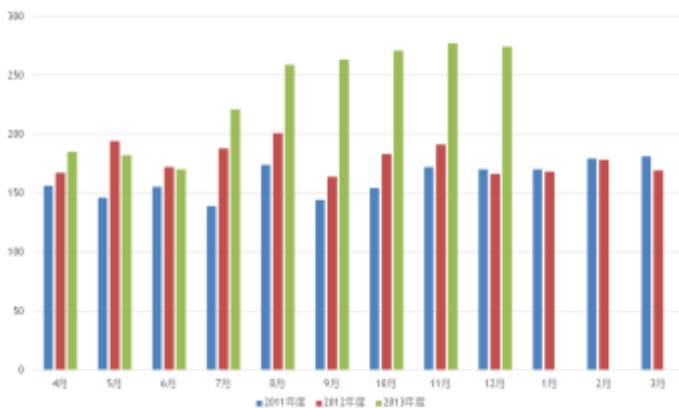
千葉県は全国 3 位のスピードで高齢化が進展しており、今後さらに増加することが予想されるがん患者に対して、身近な地域で最先端の治療が受けられるように当院ではがん治療に対する取り組みを強化していきます。

がんの治療は手術だけではありません。化学療法や放射線治療、緩和ケア治療などのさまざまな治療を組み合わせ、より良い治療成績を目指す治療を集学的治療と呼んでいます。平成 28 年 1 月にオープンする新病棟には、「八千代がん治療センター」を設立し、最新の化学療法や緩和ケアなどの集学的治療を提供できる病棟を設計する計画となっております。また将来的には放射線治療装置の設置も計画しています。



「八千代がん治療センター」には、がん診療に必要な機能別に 6 つの室が設けられており、適切かつ安全な化学療法の遂行、研修医や地域医療機関へのがん治療の教育、心のこもった緩和ケアの施行、がん患者や家族からの相談に対する対応、地域医療機関との医療連携やがん登録などを専門のスタッフが積極的に行っていきます。

月別外来化学療法件数



もちろん当院のがん治療体制は病棟だけではありません。当院の外来化学療法件数は、近年急激に増加してきています。化学療法専門医も加わり、最新の化学療法を外来でも提供できる体制が整っています。地域の患者さんが通いやすく、日々の生活を大切にいただけるような外来化学療法を推進していきたいと思ひます。